

国際交流事業で学んだこと

鈴木 重孝

僕が国際交流事業に参加した理由は、磐梯町とオリバー市の文化の違いについて知ることと、積極的に英語で話したかったからです。

まずは、食文化の違いについて知りました。磐梯町ではいつもお米が主食として出ています。オリバーもお米が主食であろうと思っていましたが、お米は1回も出ず、パンなどが多かったのが驚きました。さらに一つ一つのサイズが大きくて、食べきれないことがありました。でも、とてもおいしかったです。さらに、磐梯町では必ずおはしを使い食事をしますが、オリバーではおはしを一切使わず、スプーンやフォークなどを使って食べていました。このことから磐梯町とオリバーの食文化の違いについて知ることができました。

参加動機のもう一つである積極的に英語で話しかけることについては、上手くいきませんでした。なぜなら、話した言葉がうまく伝わらず聞き返されることが何度もあったからです。その理由は発音だと思いました。外国人にとって発音がよくないと聞き取ることが難しいと思います。なので発音よく、

「いっしょに遊びませんか」と聞いたら「いいよ、いっしょに遊ぼう」と答えてくれました。

その時僕は伝わったと思うととても嬉しい気持ちになりました。伝わるとこんなに嬉しいと思わなかったのでとても達成感がありました。

国際交流事業では、オリバーの食文化の違いや、会話することの難しさについて学ぶことができました。

僕は将来外国に行って発音よく会話し、コミュニケーションをとりたいです。今回の国際交流事業は自分の世界の視野を広げてくれる良い機会になりました。